

# 30年度 入学試験要項



東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行人 中原 泉  
編集人 偶数毎月末日  
発行日 1部10円  
定価 (〒951-8580)  
編集室 新潟市中央区浜浦町1-8  
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

## 全学部入試を実施

本学は、平成三十年度の日本歯科大学入学試験要項(生命歯学部・新潟生命歯学部)を公表した。一般入試、センター利用入試の前期・後期とも両学部の試験は同じ日に行い、両学部に併願して受験できる「全学部入試」を実施する。なお新潟生命歯学部では、本年九月九日に第I期AO入試を行った。また十一月に新潟生命歯学部で第II期AO入試を、両学部では、推薦入学試験を実施する。(入学試験要項と試験日程は、四面に掲載)

### 一般入試は2月1日・発表は4日

☆学力試験は英語が必須、数学・国語から一科目、理科から一科目、計三科目を受験☆  
平成三十年度の「一般選抜入学試験」と「大学入試センター試験利用入学試験」とも、各々前期日程と後期日程により実施する。出願の受け付けと試験会場は、東京富士見の生命歯学部で行う。  
一般選抜前期・センター利用前期・一般選抜後期・センター利用後期入学試験は、各一回の受験により、生命歯学部(東京)と新潟生命歯学部の両学部に志願できる。両学部に合格した場合、どちらかの学部を選ぶかは自分で選択できる。  
一般前期入学試験は、

生命歯学部 検索 <http://www.tky.ndu.ac.jp>

新潟生命歯学部 検索 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>

二月一日に三科目の学力試験と面接試験を行う。募集人員は生命歯学部(東京)約五十三名、新潟生命歯学部約三十五名。東京の生命歯学部に出願し、同学部で学力試験と面接試験を受験する。一般入試は英語が必須で、国語・数学は「国語総合」(近代以降の文章)、「数学I・A」のうちから一科目を選択する。理科は「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」のうちから一科目を選択し、二月四日正午に生命歯学部合格者を掲示し、合格発表日には本学ホームページに合格者の受験番号を公開する。センター利用前期入学

## 東京・附属病院 「病院機能評価」更新認定3回目

日本歯科大学附属病院は、平成二十九年(二〇一七)九月一日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構から三回目の「病院機能評価」認定を受けた。  
認定病院とは地域に根ざし、安全・安心・信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している一定の水準を満たした病院をいう。本院は平成十九年(二〇〇七)八月に、歯科のみの医療機関附属病院として全国で初めて認定を受けている。



▷日本医療機能評価機構からの新しい認定証

## 短期大学入学試験

東京短期大学歯科理工学科・歯科衛生学科の社会人入学試験は、平成二十九年十二月三日実施。大学入試センター利用試験は平成三十年二月四日、一般選抜入学試験は三月三十一日、一般B入学試験は三月四日、歯科理工学科のみ一般C入学試験を三月二十日に行う。

## ★職場体験★ロビーコンサート★ 恒例の夏行事 附属病院で開く

飯田橋駅前の附属病院では八月初旬、毎年夏の恒例行事となっている、中学生による職場体験実習と生命歯学部アンサンブル部によるロビーコンサートを開催した。



体験学習・北村教授を囲んで



スキルラボ部会の先生たちと

職場体験実習では三年目となる東京都立大学付属中学校の生徒七人がキャリアスタディ「企業研修」と題して、歯科医師の診療を体験した。八月三日当日、同校OBの長谷川伸一先生(本学七十一回卒)の引率のもと、生命歯学部図書館の見学にはじまった。附属病院では、北村和夫教授(総合診療科)が歯科医師の魅力を講話し、鈴木病院事務部長の案内で病院見学が行われた。今回は同校OBで歯科矯正学講座の鈴木章弘助教(九十六回卒)と歯科保存学講座の臨床研究生の永島万里子先生(九十五回卒)も参加、歯科医療の現場を詳しく説明した。その後スキルラボにおいて、ヒト型ロボット・シムロイドを使った模擬診療を体験。



東京・附属病院でのロビーコンサート



羽村生命歯学部長、三代病院長と演奏者たち



ヒト型ロボット・シムロイドで模擬診療を体験

宮下渉講師のほかスキルラボ部会の先生方の指導により、CR充填や歯面清掃、印象採得、石膏注入などさまざまな歯科診療に取り組んだ。ロビーコンサートは、八月七日に二部に分かれて開催された。今回は桜咲く春のロビーコンサートに続き、夏の季節感がまた、アンサンブル部前顧問である羽村章生命歯学部長による部員の紹介や三代冬彦病院長の挨拶に会場が和んだ。次回はクリスマスコンサート。

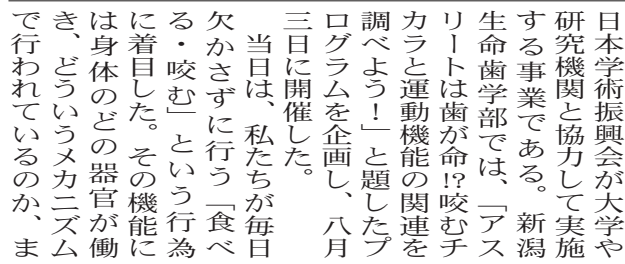
川初枝講師(総合診療科)によるピアノ演奏のほか、学部・短大の新入部員が加わったアンサンブル部員による演奏が聴衆を魅了した。

訂正・本紙第六四四号(平成二十九年五月三十日号)一面・生命歯学部入学生代表(宣誓者の氏名 松本諭を「松本英諭」に訂正いたします。

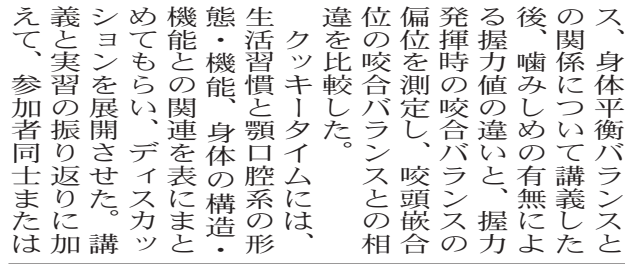
鈴木洋一(附属病院事務部長)



△今年のプログラム参加者たち



▷培養細胞を使った実験（東京）



噛むことの大切さを講義、口腔機能を測定（新潟）



生活習慣と口や歯の働きをまとめる



△参加者全員に「未来博士号」を授与



# ひらめき☆ときめきサイエンス KAKENHI 東京と新潟で開催

日本学術振興会が主催する「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、科研費によって行われている最先端の研究成果に、小学五、六年生、中学生、高校生が直接見聞し触れることで、科学の面白さや楽しさを実感してもらうプログラムである。

本年度は三八〇題余の企画が採択され、全国各地の大学や研究機関で開催された。本学では東京短期大学が八月九・十日、新潟生命歯学部が八月三日に実施した。

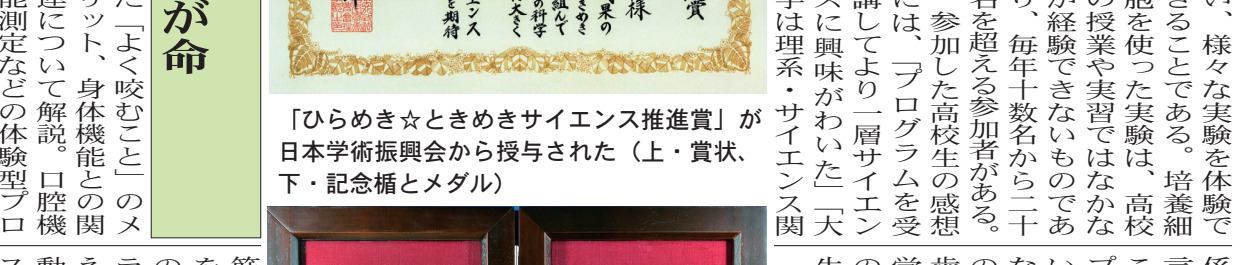
**佐藤 東京短大教授**  
**学術振興会から表彰**

東京短期大学の佐藤勉教授は、独立行政法人日本学術振興会から「平成二十九年年度ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」の表彰を受けた。

同賞は、同振興会が毎年公募している「ひらめき☆ときめきサイエンス」ようこそ大学の研究室へ」KAKENHI（研究成果の社会還元・普及事業）において、継続的にプログラムを実施した研究者に贈られるものである。

成二十九年度も採択・実施済み。本年度の受賞者は全国の大学、短大および高等専門学校の教員二十名であり、短大は本学だけが受賞した。

ひらめき☆ときめきサイエンスの目的は、「我が国の将来を担う子どもたちの科学する心を大きく寄与すること」にあり、佐藤教授は「研究者の贈られるもの（C）を受けて、タバコの中に含まれるカドミウムと歯周疾患との関連を検討しており、高校生を対象とするプログラムでその成果を分かりやすく紹介してきた。企画したプログラムの特徴は、毎年、ヒト由来の生きた培養細胞を高校生自らが扱



「ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」が日本学術振興会から授与された（上・賞状、下・記念楯とメダル）

介してきた。企画したプログラムの特徴は、毎年、ヒト由来の生きた培養細胞を高校生自らが扱

い、様々な実験を体験できることである。培養細胞を使った実験は、高校の授業や実習ではなかなか経験できないものである。毎年十数名から二十名を超える参加者がある。

参加した高校生の感想には、「プログラムを通してより一層サイエンスに興味をわいた」「大

「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、小中高生に科学の面白さを分かりやすく発信するため、日本学術振興会が大学や研究機関と協力して実施する事業である。新潟生命歯学部では、「アスリートは歯が命!? 噛むチカラと運動機能の関連を調べよう!」と題したプログラムを企画し、八月三日に開催した。

当日は、私たちが毎日欠かさずに行う「食べる・噛む」という行為に着目した。その機能には身体の中の器官が働き、どういふメカニズムで行われているのか、ま

筋力UPに影響する!」をテーマに、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツ歯科医学の動向を解説。噛みしめとスポーツパフォーマンス、身体バランスとの関係について講義した。噛みしめの有無による握力値の違いと、握力発揮時の咬合バランスの偏位を測定し、咬頭咬合位の咬合バランスとの相違を比較した。

クッキータイムには、生活習慣と顎口腔系の形態・機能、身体構造・機能との関連を表にまとめてもらい、ディスカッションを展開させた。講義と実習の振り返りに加えて、参加者同士または

「お昼ご飯のときに学生さんにたくさん楽しいお話を聞けたのが嬉しかった」「実験を通して自分の歯についてよく知ることができた」「実験という形で、自ら体験すると何故そうだったのか理解することができた」等の感想があり、同伴した保護者の方々から「生活習慣を見直すよいきっかけになった」と意見をいただいた。最後に、参加者全員に未来博士号を授与し、プログラムを終了した。

本プログラムを通して、研究の一步が身近にあることや、臨床に生かせる楽しさを皆さんに感じてもらえたと思う。

（新潟生命歯学部 生理学講座 高橋睦）

△今年度のプログラム参加者たち

▷培養細胞を使った実験（東京）

噛むことの大切さを講義、口腔機能を測定（新潟）

生活習慣と口や歯の働きをまとめる

△参加者全員に「未来博士号」を授与

◁噛みしめたときの握力は？

**やればできる！ やらねばならぬ！**  
**歯科領域の院内感染予防対策**  
 — 歯科医療従事者への Suggestion 21 —

田口正博 著（日本歯科大学第65回卒業）

**臨床家だからこそ 院内感染予防対策を やらねばならぬ!**

▼主な内容

- Chapter 1 これから歯科医院を開業する君たちへ
- Chapter 2 問診および血液検査対策と患者・スタッフの診療時の服装
- Chapter 3 手指衛生・グローブ対策および口腔内・口腔外の消毒とドレープ、タオル類の扱い
- Chapter 4 検査器具への対策と診療器具の洗浄・滅菌
- Chapter 5 樹脂製器具、印象物、石膏模型、補綴物の消毒・滅菌
- Chapter 6 切削器具類への洗浄・滅菌・乾燥とエックス線撮影機器の汚染予防対策および診療後のユニットの片付けと清拭・ラッピング
- Chapter 7 歯科医院の医療安全管理
- Appendix Table 本書で紹介した院内感染予防対策などに役立つ主な製品一覧

クインテッセンス出版株式会社  
 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル  
 TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 http://www.quint.co.jp/ e-mail mb@quint.co.jp

### 新潟・東京歯の細胞バンク外来

## 両院で再生医療の普及めざす

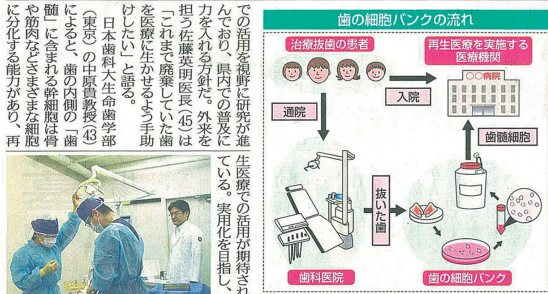
本学では二〇一五年に「歯の細胞バンク」を開設し、校友会員をはじめとする歯科医師に認定医講習会を開催している。歯髄に含まれる幹細胞は、再生医療での活用が期待されており、実用化に向けて臨床研究や動物実験が進められている。

これまで講習会を受講した認定医は全国各地で一千名を超すようになったが、九月一日、新潟病院四階に「歯の細胞バンク外来」を設置した。同外来では、「歯の細胞バンク」について説明するとともに、バンク登録希望者の同意書の作成、抜歯、抜去歯の細胞培養施設への送付など、一連の手続きを行う。外来医長は、新潟病院口腔外科の佐藤英明講師が務める。

また十月一日からは、東京の附属病院にも「歯の細胞バンク外来」を設置した。一昨年のバンク

## 日本歯科大歯の細胞バンク 新潟病院に専門外来

再生医療に活用 県内での普及狙う



歯の細胞バンクは、歯の歯髄から幹細胞を取り出し、培養して歯の再生に活用する。新潟病院では、この細胞バンクを利用して、歯の再生医療に取り組んでいる。

新潟病院では、この細胞バンクを利用して、歯の再生医療に取り組んでいる。

新潟病院では、この細胞バンクを利用して、歯の再生医療に取り組んでいる。

新潟病院「歯の細胞バンク外来」設置を報じる地元紙「新潟日報」

9月2日付の朝刊「社会面に掲載された(新潟日報社提供)」

新潟病院「歯の細胞バンク外来」設置を報じる地元紙「新潟日報」

9月2日付の朝刊「社会面に掲載された(新潟日報社提供)」

新潟病院「歯の細胞バンク外来」設置を報じる地元紙「新潟日報」

9月2日付の朝刊「社会面に掲載された(新潟日報社提供)」

## マヒドン大レジデント・院生 新潟・補綴Ⅱで研修

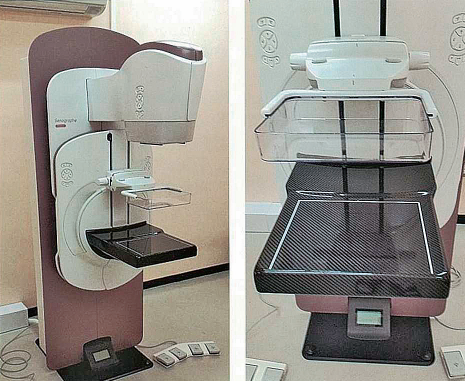


一九八八年に本学とタイのマヒドン(マヒドン)大学歯学部とが姉妹校提携を締結して以来、同大学からの大学院生の受け入れをはじめとして、教員レベル、学部学生レベルでの国際交流が活発に行われている。これらの交流プログラ

ムの中で、マヒドン大学歯学部補綴学講座からのレジデント、Master of Scienceの定期的な夏の研修の受け入れは、四年前の二〇一三年から始まった。この研修は、同講座のAssociate Professor Dr. Somchai Urapeponと筆者との交流からスタートした。

Somchai Urapepon 准教授は、平成八年度から平成十一年度まで、大学院新潟歯学研究科の大学院生として口腔材料工学を専攻した。そしてマヒドン大学の同講座から

## 医科病院にマンモグラフィ 7月から乳腺外来を開設



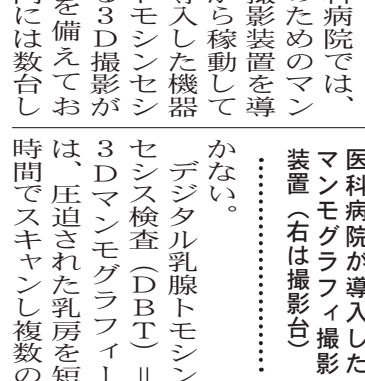
新潟の医科病院では、マンモグラフィ撮影装置を導入し、四月から稼働している。今回導入した機器は最新鋭のトモシンセシス、いわゆる3D撮影ができる機能を備えており、新潟県内には数台しかありません。

マンモグラフィ撮影装置(右は撮影台)

この撮影装置によって、これまで診断が難しかったとされてきた五十歳未満の方や、乳腺密度の濃い乳房についても、より正確な診断ができることが期待されている。

また医科病院では、七月から毎週水曜日に午後完全予約制の乳腺外来を開設した。撮影は原則として女性技師が行うが、検査も受け入れられている。DBTを活用しながら、乳腺外来では、一次検査から精密検査まで幅広く対応できることになった。

## 川嶋里貴助教(新潟・保存Ⅱ) 歯科理工学会論文賞うく



新潟生命歯学部歯科保存学第二講座の川嶋里貴助教は、四月十五・十六の両日に日本歯科大学生命歯学部で開催された第六十九回日本歯科理工学会学術講演会場で、歯科理工学会の論文賞を受賞した。

受賞した論文は、"Effect of an experimental adhesive resin containing multi-ion releasing fillers on direct pulp capping" である。昨年発行された歯科理工学会の英文誌 "Dental Materials Journal" に発表された。

## 二人の私学人―吉岡彌生と中原市五郎

「二人の私学人―吉岡彌生と中原市五郎」は、本年六月一日の創立第一一周年記念式典で、中原理事長・学長は、創立者中原市五郎先生と、東京女子医専の吉岡彌生校長とが深い交友関係にあったことに触れた(本紙第六四五号)。

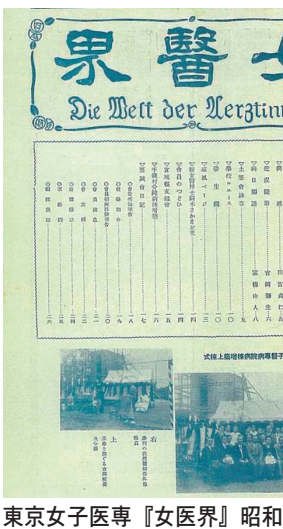
吉岡女史は現在の東京女子医科大学の創立者であり、明治三十年に飯田町に医院を開業し、当時の中原歯科医院の患者でもあった。私立学校の創設や経営の苦労話など二人の共通の話題、知られざるエピソードを収録した原著論文「二人の私学人」は、本年九月に刊行された『日本歯科歴史学』第三十二巻第二号に掲載された。

なお当時の東京女子医学専門学校では、機関誌『女医界』を毎月発行していた。吉岡校長は「近況随筆」と題して日々の

## 近況随筆 吉岡彌生

「近況随筆 吉岡彌生」(七月)五日は日本歯科医学専門学校校長中原市五郎氏古稀の賀で、帝国ホテルにお招きをうけ、単に開業して居るのみであったが、明治四十一年(マ)に歯科医学学校を創設せられ、破竹の勢を以て今日の発展

を見るに至り、卒業生五千人に達し、齢古稀を迎へられ実にお目出度い事でありませぬ。出席者七〇〇名で、その九〇%まで卒業生で各々その功績を称へられました。私はテニスプレーヤーに学校長、教育者として最も愉快な事は、卒業生の成功とその好評を聞く事で、学業に社会的に貢献した事を耳にするたびに寿命の延びる思ひであるが、中原校長をして百歳の寿を完うして頂くのは、一に卒業生のお力によると思いましたが、これは実に自分の実感による偽らざる真情であります。



## 川嶋里貴助教(新潟・保存Ⅱ) 歯科理工学会論文賞うく

新潟生命歯学部歯科保存学第二講座の川嶋里貴助教は、四月十五・十六の両日に日本歯科大学生命歯学部で開催された第六十九回日本歯科理工学会学術講演会場で、歯科理工学会の論文賞を受賞した。

受賞した論文は、"Effect of an experimental adhesive resin containing multi-ion releasing fillers on direct pulp capping" である。昨年発行された歯科理工学会の英文誌 "Dental Materials Journal" に発表された。

## 中原教授(東京発生) 科研費委員表彰

日本学術振興会では、学術振興を目的とした科学研究費(科研費)助成事業を行っており、本学生命歯学部の中原貴教授(発生・再生医学講座)も科研費審査委員を務めている。

科研費助成事業は、基礎から応用まで、全ての分野の学術研究費を発表させることを目的としてその配分審査は、審査の質を高めるために、専門的見地から第一段階審査(書面審査)と第二段階審査(合議審査)の二段階で行われる。

今年度は約五五〇〇名の第一段階審査委員(書面審査)の中から二五五名を選考し表彰した。

平成二十年から有意義な審査意見を付した審査委員を表彰しており、中原教授は九月に平成

## 学術講演会会場 八階富士見ホール

平成二九年年度春期第六十九回日本歯科理工学会学術講演会会場は、八階富士見ホールで開催された。

表彰状を手にする川嶋助教

## 辞令

二十九年年度委員として表彰を受けた。

新潟病院に歯の細胞バンク外来を設置する。

講師 佐藤 英明

歯の細胞バンク外来医長 併任を命ずる(新潟病院 口腔外科)

市村 優季

医療職員(看護師)として採用する(医科病院看護科)

平成二十九年九月一日

# 平成30年度 日本歯科大学入学試験要項

生命歯学部 <http://www.tky.ndu.ac.jp>  
 検索 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>  
 新瀉生命歯学部 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>  
 検索 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>

試験区分	AO入学試験		推薦入学試験		一般選抜前期入学試験		大学入試センター試験利用前期入学試験		一般選抜後期入学試験		大学入試センター試験利用後期入学試験		
	AO入学試験Ⅰ期	AO入学試験Ⅱ期	新瀉生命歯学部		生命歯学部(東京)	生命歯学部(東京)	新瀉生命歯学部	生命歯学部(東京)	生命歯学部(東京)	新瀉生命歯学部	生命歯学部(東京)	新瀉生命歯学部	
学部	新瀉生命歯学部		新瀉生命歯学部		生命歯学部(東京)	生命歯学部(東京)	新瀉生命歯学部	生命歯学部(東京)	生命歯学部(東京)	新瀉生命歯学部	生命歯学部(東京)	新瀉生命歯学部	
募集人員	約8名	約8名	約10名 (指定校制・公募制)		約40名 (指定校制・公募制)	約53名	約35名	約20名	約15名	約10名	若干名	約5名	若干名
出願期間	平成29年8月28日(月)～9月7日(休)	平成29年10月23日(月)～11月1日(休)	郵送・窓口とも： 29年11月8日(休)～11月16日(休)必着 窓口受付時間 10:00～16:00		郵送：29年11月1日(休)～11月9日(休)必着 窓口：29年11月8日(休)・11月9日(休) 窓口受付時間 10:00～16:00	郵送：30年1月5日(金)～1月25日(休)必着 窓口：30年1月25日(休)・1月26日(金) 窓口受付時間 9:00～16:00	郵送：30年1月11日(休)～1月25日(休)必着 窓口：30年1月25日(休)・1月26日(金) 窓口受付時間 9:00～16:00	郵送：30年2月21日(休)～2月28日(休)必着 窓口：30年2月28日(休) 窓口受付時間 9:00～16:00	郵送：30年2月21日(休)～2月28日(休)必着 窓口：30年2月28日(休) 窓口受付時間 9:00～16:00	郵送：30年2月21日(休)～2月28日(休)必着 窓口：30年2月28日(休) 窓口受付時間 9:00～16:00	郵送：30年2月21日(休)～2月28日(休)必着 窓口：30年2月28日(休) 窓口受付時間 9:00～16:00	郵送：30年2月21日(休)～2月28日(休)必着 窓口：30年2月28日(休) 窓口受付時間 9:00～16:00	
出願場所・試験場	日本歯科大学新瀉生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500		日本歯科大学新瀉生命歯学部 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311		日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311		日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311		日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311		日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311		
試験科目等	<b>出願資格(オープンキャンパス参加が必須、昨年度参加可)</b> ・目標を定めその実現のために積極的に行動することのできる、目標意識と意欲のある者 ・医療人にふさわしい高い倫理観や適性を持った者 ・本学以外の修学・志望は考えておらず、合格した場合に入学を確約できる者 ・その他、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者等・・・ <b>選抜方法</b> 1) 高等学校調査書 2) 面接試験(グループ・個人) 3) 実技評価 4) 資格取得状況、文化・芸術・スポーツの分野やボランティア活動なども評価		<b>出願資格(公募制)</b> 1) 平成29年3月卒業業者並びに平成30年3月卒業成績が見込みの者で学業成績が良好で将来歯科医職を担う者として高等学校長が推薦する者 2) 本学への入学の意志を有し、合格した場合に入学を確約できる者 <b>出願資格(指定校制・公募制)</b> 歯科医療担当者として、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手への気持ちを理解できる人間性豊かな者で、次の条件を満たすこと。 1) 平成30年3月卒業見込みの者で、将来歯科医療を担う者として高等学校長が推薦する者 2) 本学への入学の意志を有し、合格した場合に入学を確約できる者		<b>学力試験</b> 1. 英語：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する <b>面接試験</b> 受験生本人に対し、個々に行う(注) 本学が利用する大学入試センター試験の教科・科目は以下のとおりなので、これらの科目を受験しておくこと 1. 外国語：「英語」必須(リスニングを除く) 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する 3. 理科：「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」のうちから、2科目、または「物理」,「化学」,「生物」のうちから、1科目を選択する <b>計3科目</b>		<b>学力試験</b> 1. 英語：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する <b>面接試験</b> 受験生本人に対し、個々に行う(注) 本学が利用する大学入試センター試験の教科・科目は以下のとおりなので、これらの科目を受験しておくこと 1. 外国語：「英語」必須(リスニングを除く) 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する 3. 理科：「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」のうちから、2科目、または「物理」,「化学」,「生物」のうちから、1科目を選択する <b>計3科目</b>		<b>学力試験</b> 1. 英語：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する <b>面接試験</b> 受験生本人に対し、個々に行う(注) 本学が利用する大学入試センター試験の教科・科目は以下のとおりなので、これらの科目を受験しておくこと 1. 外国語：「英語」必須(リスニングを除く) 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する 3. 理科：「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」のうちから、2科目、または「物理」,「化学」,「生物」のうちから、1科目を選択する <b>計3科目</b>		<b>学力試験</b> 1. 英語：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する <b>面接試験</b> 受験生本人に対し、個々に行う(注) 本学が利用する大学入試センター試験の教科・科目は以下のとおりなので、これらの科目を受験しておくこと 1. 外国語：「英語」必須(リスニングを除く) 2. 国語・数学：「国語総合」(近代以降の文章)、「数学Ⅰ・A」のうちから、1科目を選択する 3. 理科：「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」のうちから、2科目、または「物理」,「化学」,「生物」のうちから、1科目を選択する <b>計3科目</b>		
試験日	平成29年9月9日(土)	平成29年11月5日(日)	英語小テスト、面接試験とも 平成29年11月19日(日)		英語小テスト、小論文、面接試験とも 平成29年11月12日(日)	学力試験、面接試験とも 平成30年2月1日(休)		面接試験：平成30年2月5日(月)	学力試験、面接試験とも 平成30年3月4日(日)		面接試験：平成30年3月4日(日)		
合格発表	平成29年9月12日(火)	平成29年11月7日(火)	平成29年11月21日(火)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する 新瀉生命歯学部ホームページにおいて同日午後4時以降に掲載		平成29年11月14日(火)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する	平成30年2月4日(日)12時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		平成30年2月7日(水)12時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する	平成30年3月7日(水)12時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		平成30年3月7日(水)12時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		
手続期限	平成29年9月22日(金)	平成29年11月17日(金)	平成29年11月30日(休)		平成29年11月22日(休)	平成30年2月14日(休)	平成30年2月16日(金)	平成30年3月15日(休)	平成30年3月15日(休)				

(注) 一般選抜入学試験(前期・後期)・大学入試センター試験利用入学試験(前期・後期)は、生命歯学部(東京)と新瀉生命歯学部共通の試験で行い、併願可能。